



# マナー講座がはじまりました。

6月1日（金）に戸田登代美先生をお迎えして、講演をしていただきました。「面接に向けて正しい言葉遣いやマナーを知る」を目標に、お話をしていただきました。

この講演はマナー講座のスタートです。マナー講座とは、「言葉遣い」「立ち振る舞い」「面接」などを学んでいく講座です。3年生になって急に面接練習をするのではなく、大人になっても通用する力を今から身につけていこうという目的で取り組んでいます。最終的にマナー検定を学年で実施します。短い面接を行い、どんな力が身についたかを確認します。マナー検定は2学期に実施する予定です。



立腰（りつよう）  
腰骨を立ててまっすぐ姿勢を伸ばします。

## 感想（生徒感想文より）

今日、戸田先生のお話を聴いて敬語の大事さが改めてわかりました。何気ない会話の中でたまに大人の方に友達のように話したりしています。それは自分自身が意識しているようで意識していないのだということがわかりました。今日のお話の中にあった、単語で言うてしまうことは自分の中で多いなあと感じています。なぜなら、小学校の頃先生に「先生は〇〇ではありません」と言われたことを思い出したからです。今日お話して下さったことを意識して生活に取り入れていこうと思います。（1組）

僕はお話を聴いて、改めて色々なことがわかりました。人がしゃべり終わったら大きく返事をする、発表などで手を挙げるときは腕を耳につけるといったことです。高校とかの面接のことも知りました。話の終わりには、です・ますをつける、大きな声ではきはきと話す、姿勢は崩れないようまっすぐにし、目線は相手の目を見て話すなどです。内容は具体的に、相手に伝わる言葉でといったことも知りました。実際に戸田先生は、はきはきとしゃべっていて聞きやすかったし、目線も皆の方を見て話していました。僕も3年生になるまでには、先生に教えてもらったことができるようにがんばっていきたいです。立派な大人になるために。（1組）

年齢を時間に表すと12, 13歳は朝の3時頃で「夜明け前」という表現が面白くて、わかりやすいと思いました。また、夜明け前と聞いてあまり実感していなかった人生の長さを知りました。戸田先生

の話を聴いて、言葉遣いや態度の大切さがわかりました。たまに、人に対して乱暴な言葉遣いになったりしてしまうので、相手が傷つかない言葉を選ぶようにしていきたいと思いました。先生に名前を呼ばれた時も「はい」と返事をしようと思いました。「人生の夜明け前」という表現から、まだまだ人生は長く、これからの人生で起こる様々なことを乗り越えられるよう準備していきたいと思いました。（1組）

高校受験はほとんどの人が通る道です。受験では面接があることもあり、態度や話す時の姿勢を見られます。そのために日頃からあいさつ、特に目上の人への態度、話し方に気をつけ身につけてはと思っていました。だから、お話が聴けて良かったです。言葉遣いを振り返ってみると、まだできていないことがあると思いました。面接の練習では、途中までしか書けていませんでした。言葉が詰まったりして、むずかしかったです。でも言い終えることができて良かったです。実際はいすに座るし、呼ばれてから席を立てて出るまで評価され、場合によっては不合格の原因にもなってしまいます。だから、練習をしてできていないところ、良くないところがわかって良かったです。改めて礼儀や話す時、聴く時の態度を教えてもらい、自分で考えることもできて本当にとても良い機会を頂いたと思います。日常の細かいところで人の内面や人格がわかると言います。日頃から細かいところに気をつけていないとイメージが落ちてしまうと思いました。また、日頃から態度や礼儀に注意して過ごすことで受験にもつながることを学べたと思います。もう受験まで3年もないと思うと、今からでもやれることはたくさんあるとわかりました。（1組）

今回の講演を聴いて、普段はあまり気にしていない行いを見つめ返すことができたと思いました。たとえば会話の最後を単語で終わらせてしまう、ということです。私が以前、母に「お母さん、お茶！」と言ったとき、母は「お母さんはお茶じゃないわ」と言いました。それから「親しき仲にも礼儀ありよ。」とも言いました。そのとき私は何とも思っていませんでした。しかし、よく考えてみるとずいぶん失礼だなと思いました。それから、手の挙げ方についてです。戸田先生が「きちんと伸ばすよ」と仰ったとき、指先まで意識しなければいけないのは大変だなと思いました。でも、確かに自分が先生だとしたら、手を挙げている生徒を当てるとき、ピンとしている手を当てたくなるなと思い、納得できました。

これから面接や就職の時には、やはり第一印象が大事になってくるので姿勢、口調、態度に気をつけようと思いました。そのためには普段から人と接する時に、きちんと相手の目を見て、堂々と、きっちり言わなければならないので、家族や近所の人にもやってみようと思いました。今回の講演の内容をきちんと理解し、これからの学校生活に活かしていきたいです。（2組）

お話を聴いて、人の印象は話し方で決まると思いました。話し方が上品であれば真面目なイメージ。面接でも普段使っている言葉ではなくもっと丁寧な言葉で話すといい印象になると思いました。他の人と話すとき、自分のことを下の名前で呼んでいたのも、これからは「私」をつかっていきたいと思いました。これからは先生や先輩など目上の人には敬語を使おうと改めて思いました。笹中のいいところを書くとこがあり、すぐに書けませんでした。だから、時間をかけずにすぐ答えられるようになったらいいと思いました。戸田先生の話し方がとても丁寧で、優しい人だと感じました。そうなるには笑

顔も大切だとわかりました。戸田先生のお話を聴いて、納得したし、良い体験をさせていただきました。  
(2組)

戸田先生話を聴いて、まだまだできていないところがあった。先生に友達に話すようにしたり、単語だけで話したりしていた。これから大人になって、会社に勤めなければいけない。面接をして、合格しなければ会社に行けないと思った時にまだできていないところや、直さないといけないところがあると思った。AI やドローンなどのロボットが出てきて、人間が出来る仕事が少なくなっているという話を聴いた。人間ができる仕事を大人になってめいいっぱいやろうと思った。「公」はみんながいる場、「私」は個人の場、その区別をしっかりとやろうと思った。相手が話をしている時は姿勢を正し、うなずこうと思った。これからの学校生活や大人になってからも戸田先生に教わったことを思い出してがんばろうと思った。(2組)

僕は戸田先生話を聴いて、先生への言葉遣いはいいと思っていましたが、考えてみれば少しあやしい気がしてきました。戸田先生からの質問で「笹中のいいところ」というものがありました。僕は厳しいところ、と書きました。理由は、中学校は大人になるための学校なので、厳しくないとは将来困るからです。このように今日のお話を聴いて、笹中のいいところを見つけ、敬語のあらたな心得を見つけることができました。これからは笹中の良いところを見つけられるように、充実した学校生活を送りたいと思います。(2組)

12, 13歳というのは人生のうちでは午前3時くらいということ聴いて、もう13年も生きているのにまだまだそのくらいなんだな、と思いました。これからたくさんあります。言葉遣いを振り返ると、名前を呼ばれても「はい」と返事をあまりしていないな、と気づきました。これからは返事もすぐできるように意識していきたいです。さらに面接では学校のいいところ、自分のいいところ等を聴かれてすぐに答えられる力が必要だと思いました。今日は5分間、考える時間があつたけれど、本番ではその時間ありません。すぐ、頭の中で文章を組み立てる力も必要だと思いました。(3組)

戸田先生話を聴いて、自分の言葉遣いについて改めて直していかないとだめだなと思いました。先生に対して友達と話しているかのようにならずと話していたからです。自分では言葉遣いがきちんとなっているとそもそも思っていなかったけれど、詳しくどこがだめなのかは自分でもわかりませんでした。けれど、戸田先生のお話を聴いているうちに自分のだめなところがわかりました。手の挙げ方、返事も「うん」ではなく「はい」にする、自分のことを名前で呼んでいたこと、色々知ることができとても感謝しています。そして、これからどう活かしていくかを考えることができました。もっと自分の悪いところや、直したほうがいいところを知り、直していけたらいいなと思います。(3組)

面接についての話でしたが、色々な時に目上の人などと話したり、授業等で使えることなので日常でどんどん使っていこうと思いました。僕は相手の目を見る、言葉の終わりにです・ますをつけることをしていなかったので、今度から気をつけたいと思いました。この話を聴いて、面接は上手くアピールするとしか考えていませんでしたが、相手の目を見る、背筋を伸ばすなどとても大事なしないといけないことがわかったので、日常からやっていこうと思いました。(3組)

言葉遣いをていねいにしようとするには、常に意識するんだと聞いて、これから友達と話するときも少

し意識してみようと思いました。どんな時も相手が特に伝えたいことを言う時などは立腰して、しっかり聴きたいと思いました。学校で発表する時は、素早く、絶対に一番に、またきれいに手を挙げて発表したい気持ちを伝えられるように練習しようと思いました。こういったことをコンプリートするには、意識と練習しようとする気持ちが必要だと僕は思いました。これからの学校生活でも使っていけるように、今書いていることを頭に入れて過ごそうと思いました。  
(3組)

話のしかたや言葉の大切さを知りました。自分が今までどんな話し方をしていたか、言葉をどれだけでいねいに話せていたか、疑問に思いました。今回のお話を聴いて、言葉の使い方を学びました。やっぱりむずかしいなと思いました。自分が言ったことが相手にどんなふうに伝わるのか、相手はどんなふうに思うのかを考えました。言い方によっても感情が変わるので、むずかしいと思いました。これからは言葉をもっとていねいにして話そうと思いました。(4組)

お話を聴いて、言葉遣いや話し方に気をつけようと思いました。今までは「うざい」「ヤバい」とかを使っていたけれど、これからはそういう言葉をできるだけ減らして、もっとポジティブな言い方をしていこうと思いました。戸田先生の話で一番心に残っているのは「私達の人生はまだ朝の3時くらい」という話です。その話を聴いて、私はこれから未来のことをもっと考えていこうと思いました。なぜなら、私達には色々な未来があって、そのことを考えないといけないと思ったからです。いつも言葉に気をつけて、生活をしていこうと思いました。なぜなら面接などの時に困らないようにしたいと思ったからです。日常で気をつけていれば、「面接」などの時に普通に話すようにできるからです。戸田先生話を聴いて、知らない考え方をたくさん知れたので良かったです。(4組)

今回の授業をして思ったことは面接について知りました。文の終わりには「です、ます」をつけることを学びました。相手の人の目や顔を見てしゃべり、最後まではっきりと話すことが大事だと知りました。戸田先生も一定のところを見るのではなく、みんなに顔を向けて話していたのでわかりやすく、聞こえやすい声でした。何か意見を言うときは、手を耳の横に添えてしっかりと手を挙げることも知りました。今までだと手が斜めになっていたのが気をつけていきたいです。この1時間で色々なことがわかったので良かったです。(4組)

人としゃべるということは相手に気持ちを伝えるということだと思います。けれど、そこで雑にしゃべれば相手は「なんだ」と思うかも知れないので、ていねいにしゃべっていこうと思いました。面接はむずかしくて、うまく表現できませんでした。だから、3年後にはできるように、「はい」の声も意識していきたいです。しゃべるときに無意識でもできるくらいになりたいです。この話を聴いて、なぜかはよくわからないけれど、緊張しました。(4組)